

健康診査の結果の活用

健診結果は
いかがでしたか？

結果は、普段の生活の表れです。健診は受けっ放しにせず、結果をきちんと活用することが大事です。



健診が終わったら・・・

- ステップ 1 きちんと健診結果に目を通しましょう
以前と比べて変化した数値はありませんか？
結果説明の場があれば、積極的に受けましょう
- ステップ 2 「要精密検査」「要医療」「要治療」と言われたら、
まずは、かかりつけ医に相談しましょう
- ステップ 3 結果に応じて、市町村が実施している健康相談、
保健指導、通いの場などをうまく活用しましょう
- ステップ 4 生活習慣を振り返り、見直せるところはトライ
- ステップ 5 また来年の健診で健康状態を確かめましょう

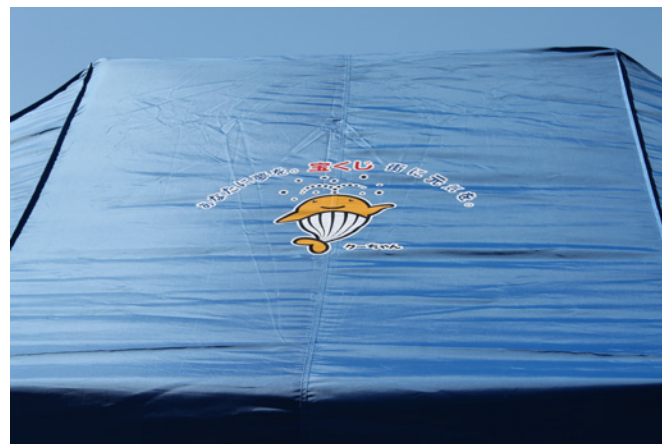
問 北海道後期高齢者医療広域連合 ☎ 011 - 290 - 5601 住民課後期高齢者医療担当 ☎ 56 - 2122

コミュニティ助成事業で備品を整備

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。

この事業は、コミュニティ活動に必要な備品の整備などに対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを趣旨としたものです。

このたび、この宝くじの助成金で宮下行政区がテント、テーブル、イス、発電機、収納用物置などを整備しました。地域のコミュニティ活動の充実が期待されます。



問 総務課総務担当 ☎ 56 - 2121

ミナ・トマムの薪を準備しました！



昨年秋、トマム地区に吹き荒れた強風により、立木が倒れる被害が発生しました。この倒木をミナ・トマムの薪ストーブの熱源として利用するため、トマム町内会の有志の皆さんにより薪割りや薪の搬入作業がボランティアで行われました。

ミナ・トマムはトマム町内会が運営しており、買い物支援や交流の場の創出、サークル活動の場など、地域の皆さんにとって様々な役割を担っています。町内会の皆さんは、「有志の皆さんが準備した薪で、厳しい冬を温かく過ごせそうです。今後もトマム町内会として環境にやさしい暮らしに少しでも協力していきたい」と笑顔で話していました。

問 トマム支所 ☎ 57 - 2160

札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部との 包括的連携協定を締結

8月20日、占冠村と札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部は、多文化共生や地域活性化など6項目で協力する「包括的連携協定」を締結しました。

本村は、外国人住民の比率が全国でも高い自治体であり、外国人住民との共生や地域づくりを重要なテーマとして捉えています。近年、北海道内でも「外国につながる子どもや家庭への支援」の必要性が高まっており、今回の協定は、「子ども・子育て支援及び多文化共生」をはじめとする地域課題の解決に共に取り組むためのものです。



◆協定のきっかけ

2024年、本村の外国人労働者の現状に関する実態調査（研究代表者：札幌国際大学人文学部教授 小内透氏）が行われました。その結果、外国人労働者が地域社会や産業を支える重要な存在である一方、生活支援や地域共生に関する課題も明らかになりました。この研究成果を踏まえ、本村と札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部は継続的に連携していくこととしました。

◆主な連携内容

- (1) 子ども・子育て支援及び多文化共生に関すること
- (2) 地域活性化に関すること
- (3) 地域支援に関すること
- (4) 地域人材の育成に関すること
- (5) 産業・学術・文化の振興に関すること
- (6) その他、双方が必要と認めること

◆当面の取り組み

まずは、北海道内の市町村や保育園などを対象に、外国にルーツのある子どもの保育状況を調査します。村もこれに協力します。大学側は調査結果を村に還元し、村と連携して地域課題の解決を図ります。

また、村内をフィールドとした学生の学習・研究活動も進めていきます。具体的な取り組みは、今後協議しながら進めていく予定です。

問 福祉子育て支援課子育て支援室担当 ☎ 56 - 2125